

ぎゅっと、土浦

3 班 佐藤慧一／佐藤優希／志田雄毅／中島衣織／山本真結 TA：瀬島由実加

1-目標都市像

私たちが求める 20 年後の土浦の姿は、「住む人みんなが“ぎゅっと”できるまち」。既存のマスタープランは、ともすればハードの整備がメインであったが、ソフト面での提案も考えることが必要ではないだろうか。少子高齢化や人口減少が進み都市の縮小が求められる中で、まちの構造だけでなく人のつながりや愛着をも“ぎゅっと”できる都市を目指す。

2-コンセプト

「ぎゅっと、土浦」

昨今の市内や周辺を取り巻く事象や問題、ヒアリングを通して「ぎゅっと寄せる」「ぎゅっと守る」「ぎゅっと育む」という 3 つの“ぎゅっと”を、私たちの提案の軸とする。

3-「ぎゅっと、寄せる」

3-1. 中城ぎゅっとスポット事業

【目的】

中心市街地に宿場町をテーマとした「ぎゅっとスポット」を設置することで、中心市街地の様々な立場の人や散らばっている魅力をぎゅっと寄せ、賑わいをもたせる。

【現状と背景】

中心市街地の商店街の衰退が地域コミュニティの衰退から、地元住民や商店主は、中心市街地に人を呼び込みたいと感じている。その一方で、中心市街地の新規住民や観光客にとっては、地域コミュニティや地元商店に入りづらいと感じている。中心市街地では各種イベントが月に 1 度以上の頻度で開催されているがその賑わいは地元商店には反映されていない。

また中心市街地部では歴史的まちづくりが行われているが点での整備にとどまっている部分があり、連続性には欠け駐車場などで景観が分断されている。

【提案】

ルート沿いに計 12 カ所のぎゅっとスポットを整備する。ぎゅっとスポットの役割は以下 4 点である。

- ・景観の統一。12 のぎゅっとスポットはすべて宿場町をテーマにしたもので、かつて宿場町に存在した建物などを再現したものにする。駐車場や空き区画などをぎゅっとスポ

ットで埋めることで、通りとしての一体感を出す。

- ・商店への窓口として平常時からぎゅっとスポットに近隣数十メートル圏内の商店の情報を掲載する。周辺環境にあわせた個々の役割ももたせる。駅前ならば案内板、パン屋さんやお菓子屋さんの近くなればイトインスペース、等。日々の利用から、周辺の商店へ一歩踏み入るきっかけをつくる。

- ・平均して月に 1 回以上行われる各種イベントを街全体でバックアップする。イベント前一ヶ月程度の期間、イベントの主体者は 12 のぎゅっとスポットを広告媒体として利用する。お祭りムードを店の中に仕舞ってしまうのではなく、ソトのぎゅっとスポットにも展示することによって外部の人にも地域全体でお祭りを感じさせる。イベントの活気を地域に還元する。

- ・維持管理によるコミュニティ形成。イギリス発祥の TCM という考えに基づいて運営を行う。「まちづくりリーダー」を中心に、地元住民や商店主などが集まった TCM がぎゅっとスポットを運営し、行政は初期投資や資金提供などを行う。さらにイベントや祭りと絡ませることで、周辺住民だけでなくイベントの関係者や参加者とのコミュニティも形成する。



図 1：ぎゅっとスポット設置場所

【将来目標】

古くからの住民や商店と新規住民や観光客、それから各種イベントのにぎわいと歴史まちづくり、これらをぎゅっと寄せてつなげ、土浦市の顔である中心市街地に活気をもたせる。

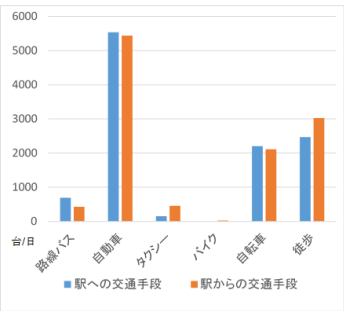
3-2. ぎゅっとステーション

【目的】

荒川沖駅に隣接し閉店した「さんばる」を、交通結節点

としての役割を強化させるように特化したリノベーションを行い、交通機関同士の乗り換えの際の利便性を高め、またまちづくりの核となる施設を配置することで駅前のにぎわいを創出する。

【現状と背景】



	周辺地区 →市南部	市南部 →周辺地区
土浦市北部	423	376
土浦市東部	2161	2001
土浦市中部	4556	5829
阿見町	7911	7573
つくば市	6872	6402
牛久市	3844	3653

図 2：駅への交通手段 図 3：駅からの自動車流動量

・荒川沖を中心とした市南部の交通の状況の調査・分析から、自動車の流動量に関して、荒川沖は阿見町やつくば市の玄関口という地域特色をもっている。また、荒川沖駅の鉄道利用者の駅への交通手段、駅からの交通手段をみると、自動車が他の交通手段と比較し多いことがわかった。これらの2つの結果から荒川沖には交通結節点としての機能があるが、市が提供している駐輪場に屋根がなく駅までの距離も長いなど利便性は高くなく改善の必要性がある。

また、荒川沖にある公民館は、土浦市内にある図書館の分館を持つ公民館4つのうち最も建築年数が長いことから、建て替えや修繕の必要性が見込まれる。また市の満足度調査から市民のニーズは図書館が最も高く、公園も3番目に高いことがわかったが、図書館の蔵書数はそれほど高くなく、さらに1人当たりの都市公園の面積は日本の平均10.5㎡を大きく下回っている。

【提案】

現在空き店舗となっているさんばるを交通結節点の役割を持った施設として活用する。フロア計画としては屋上：駐車場、2,3F：公民館・図書館、1F：駐輪場にする。土浦市の市民1人当たりの都市公園面積が小さいことに配慮し、緑をコンセプトとした施設にする。整備の要点は以下のとおりである。

- ・現状屋上に存在する駐車場をそのまま活用、そして1Fは屋内駐輪場として整備することで、パークアンドライドを推進し交通結節点としての機能を高める。
- ・荒川沖駅の鉄道利用者のうち、自宅から駅までの交通手段として自動車を利用している人が多いこと、そして近隣の公共施設の老朽化が進んでいることから、通勤通学者が気軽に立ち寄りやすい公共性の高い施設として公民館・図書館の駅前移転を計画し、人が集う空間を整備する。

・駐輪場や駐車場で得られた収益で施設の経費に充てる、という方法をとる。屋上の駐車場は周辺駐車場（第一興商駐車場3,150円、中根屋駐車場5,000円など）よりも料金を抑えることで駅に最寄りの立地でありながら価格が低いというメリットで集客効果があることがうかがえる。

【将来目標】

荒川沖駅が土浦市南部だけでなく阿見、稲敷、つくば市などの玄関口としての役割を強化することで、新たな人を呼び込み駅周辺へのにぎわいを創出する

4-「ぎゅっと、守る」

4-1. 防災機能の強化

【目的】

公共空地など土浦市の空き区画を活用し、立地特性を活かした防災施設の整備、備蓄の拡充による、市の災害リスクの軽減

【現状と背景】

備蓄に関して、市では市内小中学校を避難所として開設することを念頭に置き、備蓄品保管用の防災倉庫を30箇所を設置している。水は約61万リットル、食料品は約6万食備蓄されており、その他にも各防災倉庫には、救急箱、発電機、屋外用照明器、毛布、ブルーシート、簡易トイレ、担架、リヤカー、チェーンソー、スコップ等の避難所運営及び応急救護や簡易救出救助用の器具等も備蓄されている。市の備蓄数は東日本大震災時の避難者数等をもとに算出されたもので、今後は発災時より3日分の食料をまかなう算出での備蓄を目指している。

また、土浦市では新たな防災拠点として田中町に新消防庁舎を建設している。また、災害時の市の広域避難場所として市民運動公園、亀城公園、川口運動公園を指定しているが、いずれも液状化危険度が大きい区域に立地しており、水災害リスクは高い。以下に土浦市液状化危険度マップを示す。

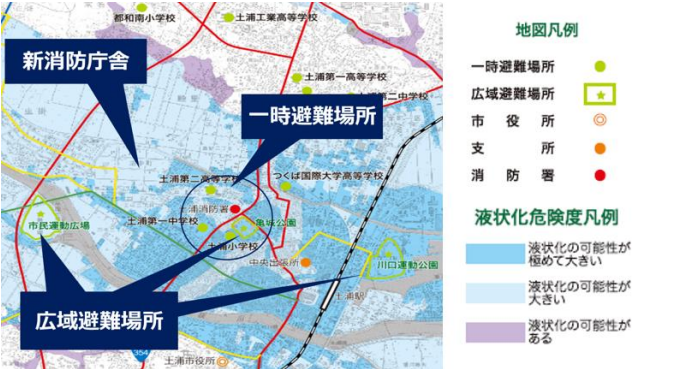


図 4：土浦市液状化危険度マップ

【提案】

おおつ野ヒルズの空き区画に防災備蓄倉庫を、旧市役所跡地に防災公園を整備する。

おおつの地区の特徴として台地で地盤が強いこと、土浦協同病院が新たに建設されていることが挙げられる。土浦協同病院は、茨城県の災害拠点病院に指定されており、停電時に3日間の稼働が可能であり、大型ヘリも利用可能のヘリポートが整備される。おおつ野ヒルズに防災備蓄倉庫を整備し、陸と空の輸送手段を確保することで、有事の際に市内、また近隣市町村への支援体制を構築する。

旧市役所跡地の特徴として高台の土地で景観的魅力を有することが挙げられる。また、敷地面積が約2haであることにあわせて人口集中地区であることが、国の補助事業である防災公園等機能強化推進事業の一時避難地としての補助対象要件を満たす。そのため、日常的には眺望の良さを生かし市民の憩いの場として利用してもらい、防災公園として耐震性貯水槽等の各防災機能は国の補助を得て整備する。

【将来目標】

土浦市の災害、特に洪水や液状化などの水災害の二次的な被害のリスクを軽減する施策を行うことで、水災害リスクの高いとされている中心市街地をはじめ土浦市全域の市民の、有事の際の安全を確保し、日常の安心を確保する。

5-「ぎゅと、育む」

5-1. Tsuchiura Leadership Program

【目的】

小中一貫教育の9年間に「まちづくりリーダー」をはぐくむような「まちづくり学習」を取り入れ、子供たちに「郷土愛」を育むとともに、社会問題の発見や解決などの場面において必要なスキル・ノウハウを習得し、土浦でのまちづくりだけでなく世界においても通用し、リーダーシップを発揮できる人材の養成

【背景】

土浦市内でも特に地域のまちづくりに積極的な活動をしている神立商工振興会へのヒアリングから、地域のまちづくりには、プロジェクトを立ち上げ、人を集め、実行する、リーダーシップのある人材が不可欠であると実感した。市内には土浦のまちづくりについて、何かしらの考えや意見を持つ人は少なくなく、地域団体も存在するが、中心市街地の歴史まちづくりなど、効果的にまちに反映されていない活動が目立ったため、それらの人材をまとめ上げ、率先して活動を行えるような環境づくり、能力の育成が不可

欠である。

「まちづくりリーダー」に求められる能力は「行動力がある」「コミュニケーション能力が高い」「イベント等の企画・立案能力がある」「発想の柔軟性が高い」「意見の調整能力が高い」となっているが、「専門性がある」は必要とされておらず、さらにこれらは「行動力」を除いてスキルレベルのものが多く、訓練をすることで向上する可能性が高い。現状、地域で育った人がまちづくりリーダーを務める組織・団体が多く（約64%）であり、その地域に生まれ育った人がリーダーとして頑張る姿が見える。

市が平成30年から開始する小中一貫教育の基本方針である目指す生徒像では「① 他者の考えを尊重したり様々な情報を適切に活用したりしながら、自分の考えをもつことができる児童生徒」「目的に合った表現方法で、自分の考えを分かりやすく伝えられる児童生徒」「社会のルールやマナーを尊重し、思いやりのある生き方ができる児童生徒」が挙げられている。

【提案】

具体的なプログラムはパンフレットを参照。

【将来目標】

小中学校での「まちづくり学習」を通じて、“土浦”への愛郷心を持った子供たちが、将来的に地域をよりよいものにする活動に関心を持ち、積極的に参加する市民となり、一人一人が価値のある地域資源、コミュニティの一員として地域の社会力を向上させる。学びの資源を学内にとどめないことで、ほかの世代にとっては世代間交流・生涯学習の場、地域の人にとっては魅力再発見・再発信の場、行政にとっては市政の見直しの場、となる。また、まちづくりにとどまらず、あらゆる社会問題の発見や解決などの場面において、「まちづくり学習」を通じて習得したスキル・ノウハウを活かし、世界においてもリーダーシップを発揮できる人材となる。

6-まとめ・今後の展望

ハード整備がメインである「ぎゅっと寄せる」と「ぎゅっと守る」を、「ぎゅっと育む」というソフト面から支えることで、「住む人みんなが“ぎゅっと”できるまち」を実現する。

7-謝辞・参考文献

7-1. 参考文献

・土浦市公式HP（最終閲覧：2016/2/4）

<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/index.html>

- ・土浦市観光協会（最終閲覧：2016/2/4）

<http://www.tsuchiura-kankou.jp/index.html>

- ・NPO 法人まちづくり活性化土浦（最終閲覧：2016/2/4）

<http://npo-kirara.org>

- ・観光いばらき（最終閲覧：2016/2/4）

<http://www.ibarakiguide.jp>

- ・交通結節点の配置（最終閲覧：2016/2/4）

https://www.city.utsumomiya.tochigi.jp/dbps_data/_material/_localhost/sougouseisaku/LRTdounyusuishin/210318.35.pdf

- ・都市再生整備計画宇和島中心地区（地方都市リノベーション事業）（最終閲覧：2016/2/4）

<https://www.city.uwajima.ehime.jp/uploaded/attachment/5007.pdf>

- ・土浦市公共施設白書（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1313731273_doc_4_0.pdf

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1313731273_doc_4_1.pdf

- ・土浦市液状化危険度マップ（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1413507263_doc_159_0.pdf

- ・土浦市消防本部新庁舎整備基本計画（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1353397800_doc_53_0.pdf

- ・土浦市地域防災計画（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1363860591_doc_8_0.pdf

- ・第1回土浦市庁舎建設審議会現庁舎の現況・課題と新築の必要性について（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1331612921_doc_3_7.pdf

- ・第1回土浦市公共施設跡地利活用方針策定委員会資料（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1416528527_doc_3_0.pdf

- ・第2回土浦市公共施設跡地利活用方針策定委員会資料（案）対象となる公共施設の概要（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1422419615_doc_3_2.pdf

- ・第3回土浦市公共施設跡地利活用方針庁内策定検討会議資料（最終閲覧：2016/2/4）

<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1430096322>

[_doc_3_3.pdf](#)

- ・国土交通省防災公園の整備（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.mlitt.go.jp/crd/park/shisaku/ko_shisaku/kobetsu/

- ・茨城県地域防災計画（最終閲覧：2016/2/4）

<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaiki/i/bousai/26.3bosaikeikaku.html>

- ・防災公園等機能強化推進事業（最終閲覧：2016/2/4）

<https://saiwai7.files.wordpress.com/2010/05/e998b2e781bde585ace59c92e7ad89e6a99fe883bde5bcb7e58c96e68ea8e980b2e4ba8be6a5ad.pdf>

- ・土浦市小中一貫教育基本方針（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1432181427_doc_48_0.pdf

- ・地域のまちづくりを担う人材育成調査報告書（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.mlitt.go.jp/kokudokeikaku/souhatu/h16seika/05gappei/05_syu_3.pdf

- ・つくば市の小中一貫教育（最終閲覧：2016/2/4）

http://www.tsukuba.ed.jp/~tsukubasummit/?page_id=68

7-2. 謝辞

本提案の作成するにあたり、多くの皆様にお世話になりました。ここに感謝の意を表します。

- ・洋和菓子 高月堂 様
- ・土浦市総務課危機管理室 野中 様
- ・神立商工振興会 事務局長 福田哲男 様
- ・茨城県建築士会土浦支部 様
- ・有限会社 今井精肉店 様
- ・ニューフジ 藤田進 様
- ・STUDIO ZEST 松崎シンイチ 様
- ・村松建築 村松勤也 様
- ・高正建設 常務取締役 高橋文男 様
- ・赤木裕子住宅設計室 赤木香菜子 様
- ・e do design 江ヶ崎雅代 様